



いちいの会 だより

平成29年
45号

発行/社会福祉法人 いちいの会 <http://www.ichiinokai.com>

ICHIINOKAI VOL. 45



地球にやさしく

くすのき苑 副施設長 大谷篤司

今年の7月に九州北部地方を中心に集中豪雨が発生しました。多くの方々が亡くなり、沢山の犠牲になられた方々が、避難生活を余儀なくされています。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、復旧作業に従事されている皆様のご安全を心よりお祈り申し上げます。

近年では、毎年のように梅雨から台風の時期にかけて、豪雨による甚大な被害が発生しています。いったい日本は、この地球はこの先どうなってしまうのかと漠然とした不安感に苛まれます。いちいの会がある野田市は、東西南北を江戸川、利根川、利根運河の大きな河川に囲まれております。江戸川、利根川は河川敷も広く、堤防も高いので、決壊することはないであろうと思っているのですが、実際に目の前で報道されているような災害が発生した場合に、私たちは法人、利用者を守るために何ができるのでしょうか。

「備えあれば憂いなし」、いざという時のためにマニュアルを整備し、避難訓練を繰り返し、備蓄を充実させ、災害に対する知識を身に付けていくこと。順次、法人としても強化しています。それでも、想像もつかない自然災害が発生したら、命を守ることはできないかもしれません。私達のご先祖様は、自然と幾度となく戦ってきました。今、私達にできることは、備えを充実させていく事は勿論ですが、微々たるものかもしれませんが、地球を救うために、電気を大切に使うこと、水を大切に使うこと、ゴミを分別すること、エコバックを使うこと。とりあえず私は、近所のコンビニへ行く時は、車ではなく歩いて行こうと思います。

●目次●

- ◇地球にやさしく…………… 1
- ◇職員苑内研修
家族会環境整備 …… 2
- ◇事業所だより …… 3, 4
- ◇行事いろいろ …… 5
- ◇とびつくす
行事報告
編集後記 …… 6

6月28日「権利擁護とは」をテーマに苑内研修を行いました。今回の研修では、特に直接利用者支援にあたる際に何を意識するのか、という事を皆で考えることを目的としました。

まず、私達が普段何気なく行っている支援を表にしたワークシートを配り、その支援について職員の立場で見た場合と、利用者の立場で見た場合を考えて発表してもらいました。その中で、職員の思いと利用者の思いにずれ違いがある事に気付きました。

次に、3～4人のグループで話し合い、今回のワークシートを行っての所感を発表してもらいました。利用者の気持ちに気づき、支援を見直すきっかけになったとの声が聞かれ、利用者とのずれ違いを埋めるには、利用者の立場に立って考えることが重要であるということを確認することが出来ました。

今回の研修は今まで当たり前に行ってきた支援を見直す良いきっかけとなりました。私達の支援は本当に利用者の為なのか。時間的効率を求めがちな職員の都合が入ってはいないか。人手不足や時間を理由に利用者の気持ちをないがしろにしてはいないかと反省し、今までの継続した支援を当たり前とするのではなく、日々変化している利用者の方の立場に立ち、声を聞き、変化に合わせて支援を変えていく事を当たり前として、私達全員で利用者の方の想いを聴き尊重できるくすのき苑でありたいと思います。



家族会環境整備

家族会副会長 染谷 信一



暑い毎日が続いています。

「一番元気なのは雑草で、私たちはとてもかかないません」と言うわけで7・8月の環境整備はお休みです。家族会の皆さまのご協力にくすのき苑の環境整備も着実に進んでいるのではないかと考えております。今年は刈払い機を3台購入して、これまで自宅の機械を運んで協力いただいた方にもこれからは苑の機械で対応できるようになりました。積極的に活用していきたいと思っています。

今後の環境整備としてはグループホームやワークショップの環境整備、苑内の環境整備などがくすのき祭の対応と併せて課題となってきます。

毎年実施していますが野田市の選定枝堆肥をいただいてプランターの鉢植えを作る作業もこれからの大事な作業です。花がいっぱいある環境は利用者さんにも訪れた人にもたいへん気持ちの良いものです。できれば、せっかくある温室を活用して、この花を苗から育てたいとの思いもありますが、今、支援員の充足が私たちのいちいの会でも大きな問題になっています。特に男性職員の不足があり、現状ではすぐの対応は難しいとは考えますが将来的には考えていきたいと思っています。

自宅の草刈りも満足にできないで、ただ眺めているだけの人間ですが、家族会として環境整備にはこれからも力を入れていきたいと思っています。



グループホームがえて

主任生活支援員 国分 雪江

4月よりグループホームとワークショップくすのきを兼務させて頂いております。今年入職9年目ではありますが、初めてグループホームの仕事に携わることになりました。利用者の方のホームでの過ごし方から始まり、ホームごとの支援にあたってのルールや、備品の置き場所や使い方なども異なり、係長や世話人さんに教えていただき、基本を覚えることに奮闘する毎日です。

グループホームでは、毎月外食の日があります。ホームごとに行き先や食事の内容もそれぞれ違います。外でラーメン・焼き肉・回転寿司など、いつもとは違った場所で食事を楽しんだり、他にはホーム内で巻き寿司やサンドイッチなど、利用者自身が簡単な調理を楽しむホームもあります。また、別のホームでは、何度か近くの飲食店で食べていたところ、店員の方が覚えてくださり、良い交流になっているところもありました。それぞれの世話人さんが利用者の方のために色々と考えてくださり、助けられることもたくさんあり、感謝しています。

世話人さんとも少しずつではありますが、直接お話しできる機会も増え始めたところです。世話人さんとより良い関係を築いていくなかで、利用者の方が充実して生活できるように頑張りたいと思います。



世話人会議の様子

中核地域生活支援センターのだネット 障害者グループホーム等支援ワーカー 大橋 宣彦

今年度よりグループホーム等支援ワーカーになりました大橋です。前年度までくすのき苑で16年間勤務しておりました。毎日利用者さんの直接支援を行ってきたところからのワーカー職への転任で、新しい刺激を受ける毎日を過ごしています。

グループホーム等支援事業は、他の県にはない千葉県単独の事業で、千葉県の柏市、船橋市、千葉市を除く12圏域に1人ずつグループホーム等支援ワーカーが配置されており、グループホーム、生活ホーム等に関わる様々な支援をしています。

野田圏域には、9事業所、25のグループホームがあり、100名を超える利用者さんが暮らしております。我が圏域でも、啓発活動、各種研修、利用者さんの集いの設定、ホームの運営支援、新規開設・増設支援、利用者さんの恋愛相談など業務は多岐に及んでいます。

私のようなたった4ヶ月しかワーカー職に就いていない者が、立ち上げから関わってきた事業者の方々の「支援」を行うということは大変なことで、専門的な相談等があった場合は他の事業所さんに意見を求めたり、市に教えて頂いたり、また、他圏域のワーカーに手助けをして頂いたりしてなんとか対応しています。経験が足りない分は、利用者さん、事業所さん、世話人さん達と伴走する形で一緒に課題に向き合いたいと考えて活動をしています。



まだ未熟者ではありますが、不器用ながら微力を尽くしていきます。なにかご相談等ありましたら、気軽にお声がけください。

ワークショップくすのき

生活支援員 大久保 弘明



4月から新しく1人の利用者さんを迎え早くも4ヶ月経ちました。何度か実習でお会いしていることもあってか、以前からワークショップに通っているのではないかと思うほど馴染んで過ごしています。ワークショップの先輩方も新しく入って来た利用者さんに影響され、より一層作業に励んでくれています。

活動として受注作業の他に、革製品作りやビーズ製品作りにも力を入れております。1つの製品に対しても利用者さん一人一人の個性が出て、全く異なった作品が出来上がります。是非一度ワークショップを見に来ていただいたり、販売会なども行っ

ているので足を運んでいただければと思います。

また、今年から初めての行事として、6月にそば打ちの体験実習を行いました。ボランティア団体の方々が施設に来てくださり、蕎麦打ちを披露してくれるというもので、実際に蕎麦を切る体験も出来ました。利用者・職員ともに初めての体験でしたが、「楽しかった」「美味しかった」と、とても思い出に残る楽しい行事になりました。

新しい職員も入り、ますます大きなワークショップとなってきております。まだまだ至らぬ点が多く、ご迷惑をお掛けしてしまう点もあると思いますが、これからは皆様のご協力・ご指導いただければと思いますのでよろしくお願い致します。

職員日記

くすのき苑 生活支援員 中村 広幸

初めまして、くすのき苑1寮でお仕事させて頂いている中村広幸と申します。

今までの経験を活かしたいとくすのき苑で働いていますがまだまだ未熟なところも多く、先輩職員や利用者の方に色々教えて頂きながら日々を過ごしています。

私の趣味は旅行に行く事です。1年に数回ですが少し長めのお休みを頂いて国内・海外問わず興味のある場所に行っています。自分の行きたい場所や今まで行った事のない場所をゆっくりと散策するのが楽しみになっています。

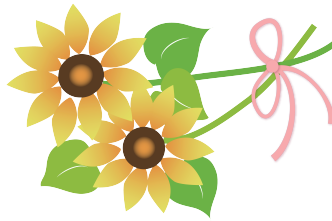
昨年は夏休みに東北地方を車で縦断しました。被災地である陸前高田を巡り、青森では何十年ぶりかの友人と再会したり、所々で温泉に浸り、美味しいものを食べたりと充実したお休みを過ごしました。また、冬休みではタイに行きました。タイでは電車やローカルバス、モーターサイを利用してその時の思いつきでカオサン通りに行ったり、アユタヤや寺院等を巡ってきました。英語や現地の言葉はあまり話せませんが、片言やジェスチャーを交えながら現地の方とコミュニケーションを取って何とか無事に行く事が出来ました。

プライベートでも仕事でも人との出会いや繋がりを大切に理想的な生き方が出来たらと思っています。





サンスマイル



行事いろいろ

ICHINOKAI VOL. 45

7月25日野田市文化会館で行われた「第27回サンスマイル」に参加してきました。

他施設の発表を見て、楽しそうに手拍子する利用者さんもいました。それぞれ有意義な時間を過ごせていたように感じます。くすのき苑の発表も成功して、達成感のあるサンスマイルとなりました。
額賀 敦子



おひさまといっしょに

6月17日、関宿体育館で行われた「第43回おひさまといっしょに」に参加しました。参加された利用者さんは楽しそうに笑顔で走って踊って満喫しているようでした。他の施設との交流もあり、職員・利用者さんにとって、有意義な時間を過ごすと共に、「社会との共生」について考えさせられる機会となりました。

森 康滋



流しそうめん大会

6月16日、流れてくる冷たいそうめんをすくい、皆で美味しく食べました。上手にすくって食べることが出来る利用者さんも、自分一人では難しい方もそれぞれの楽しみ方で思いっきり楽しみました。季節感溢れる行事は利用者さんの楽しみの一つです。皆さんの生活がより豊かなものになればと思います。

片倉 美幸



電車外出

乗り物が大好きな利用者さんと、3ヶ月に一度電車外出をしています。先日は大宮の鉄道博物館に行ってきました。普段は乗ることの出来ない運転席に座ったり、沢山の種類の電車に乗ったりすることが出来て楽しんでいる様子でした。これからも色々体験できる機会を増やしたいです。

佐藤 由美



スポーツのつどい

当日は、天候に恵まれ、全力で競技に参加する事が出来ました。壮年の部1000mに参加。日頃の練習の成果を発揮して、結果は見事一位！表彰台に上がって笑顔で万歳をする姿を見てとても嬉しく思いました。「また参加したいです。」と来年の意気込みも語ってくれました。次も頑張りましょうね。

中山 明日美





ひとりでバスがいしゆつ

まいつき、バスがいしゆつでせきやどちゆうおうターミナルから、つじばしをおりて、かすかべのブックオフにいます。バスをいから、あるきなので、さいしょはたいへんだったけど、いいうんどうになります。

レトロゲームとほんをかってます。かえりに、じはんきでアイスを食べ、かえってきます。

佐々木 翔太



くすのき祭のご案内

11月5日(日) 雨天中止

皆様 是非ご来苑ください。

楽しい催し物と、美味しい模擬店をご用意してお待ちしております。



行事報告

4月

法人全体会、お花見
4/29(土)~5/7(日) 春季帰省期間
いらっしゃいの会

7月

サンスマイル

5月

5/7(日) 帰苑日
日帰り旅行

8月

8/12(土)~8/20(日) 夏季帰省期間

6月

理事会・定時評議員会
おひさまといっしょに



● 編集後記 ●

数年前から健康のために始めたマラソンが、今では私のストレス解消になっている。今年は月間40km走るのを目標にしている。暑い中走るのは酷だが、夏の頑張りか冬に生きてくる。冬には 480km 走破!と胸を張って報告できるよう、自分と戦う毎日である。(内山)

目標にしていたダイエットを4月に達成。満足して「ごほうび」の好きな食べ物を続けていたら、2ヶ月であっという間に元通り。「継続は力なり」の難しさを改めて実感している今日この頃。さて、明日は何を食べようかな。(伊藤)

いちいの会だより VOL.45

発行 社会福祉法人 いちいの会 くすのき苑
〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3121
TEL:04-7120-6667 FAX:04-7120-6668

発行人 総合施設長 清本 健二郎
編集 広報委員会 内山・伊藤・中島
発行日 平成29年8月1日
E-mail kusunokien@nifty.com
H P URL:http://www.ichiinokai.com/